

災害時要援護者登録申請書兼登録台帳

《災害時要援護者》

※災害時に支援を必要とするもの

(4)	〒 住所	(5)	電話番号
(1)	氏名 <small>(ふりがな)</small>	(2)	生年月日
			(3) 性別

(6)

《要援護者の種類》

※該当する項目すべてに○を付けてください。

ひとり暮らし高齢者 ・ 高齢者世帯 ・ 在宅の要介護3・4・5
 身体障害者1級・2級・3級 ・ 知的障害者A判定
 その他 ()

(7)

《特記事項》

※支援するために必要な事項をご記入ください。

(8)

《家族構成》

※同居の方の人数、氏名等をご記入ください。
 人

氏名	続柄	年齢	性別

(9)

《緊急連絡先》

住所
氏名

続柄 ()

電話番号 (自宅)
(携帯)
(勤務先)

住所
氏名

続柄 ()

電話番号 (自宅)
(携帯)
(勤務先)

清須市長 様

私は、災害発生時などに地域の援助を受けたいため、本紙の内容を台帳に登録するとともに、台帳をすべての関係機関（消防署・警察署・日本郵便株式会社・民生委員・社会福祉法人清須市社会福祉協議会・自主防災組織・町内会）に提供することに同意します。

本人又は代理人住 所
氏 名
電話番号

Ⓜ (代理人の場合 続柄:)

近隣支援者届

(10)	《近隣支援者1》	住所 氏名	電話番号(自 宅) (携 帯)
	(近隣支援者として、関係機関に情報を提供することに同意します。)		
	《近隣支援者2》	住所 氏名	電話番号(自 宅) (携 帯)
	(近隣支援者として、関係機関に情報を提供することに同意します。)		

避難支援レベル調査表

(11)	項目	0点	1点	2点	3点	点数
①	同居家族等の状況	同居家族のみで避難させることができる	同居家族のみでは避難させることができない	同居家族はいない	X	
②	移動手段	自力歩行	杖またはシルバーカー	車椅子	担架またはストレッチャー	
③	災害時に移動するための介助の程度など	必要なし	見守り、声かけ程度	一部介助(手を引く、支えなど)	全部介助	
④	意思の疎通	問題なし	丁寧またはゆっくり話しかければ通じる	特殊な手段が必要	できない	
合 計 点 数						

※②と③の違いは、②で自力歩行、杖またはシルバーカーであっても、③で介助の必要性を判断してください。

高い	↑ ↓	A (6～11点)	調 査 日	年 月 日
避難支援レベル		B (3～5点)	記 入 者 氏 名	
低い		C (0～2点)		

【近隣支援者届と避難支援レベル調査表の記入について】

本人が記入できない場合は、ご家族、地域支援者にご相談ください。

【災害時要援護者登録申請にあたって】

災害発生時は、行政の公助による支援には時間的な限界があり、災害時要援護者に、迅速かつ安全な避難をしていただくためには、自助や共助の取組が重要になります。

日頃から地域の方と積極的に交流し、災害時の支援が必要な状況を確認しあい、気軽に声をかけあえる関係をつくるのが大切です。

※記入説明

地域支援者	自主防災組織・町内会・民生委員・消防署・警察署・日本郵便株式会社・社会福祉法人清須市社会福祉協議会
近隣支援者 (近くにお住まいの方でお願いできる方)	<ul style="list-style-type: none"> ・平常時・・・要援護者の日常生活の見守り、声かけ ・災害時・・・自身と家族の安全が確認できたら、要援護者の安否を確認し、要援護者へ地域の災害情報を伝え、避難が必要な場合はその手助けを行う <p>※近隣支援者はあくまでも善意と地域の助け合いにより手助けを行うもので、災害に関する支援に対して責任を負うものではありません。</p>

※ひとり暮らし高齢者で、一人暮らし高齢者登録を希望する。 署名 _____